



第 8 回 北極域オープンセミナープログラム(案)

日時:2019 年 12 月 12 日(木) 13:20-18:00 + 意見交換会 18:15-19:45

場所:海洋研究開発機構(JAMSTEC) 東京事務所共用会議室(東京都千代田区)

<http://www.jamstec.go.jp/j/about/access/tokyo.html>

主催:北極域研究共同推進拠点 (J-ARC Net)

<https://j-arcnet.arc.hokudai.ac.jp/>

- ・国立大学法人 北海道大学 北極域研究センター
- ・大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所 国際北極環境研究センター
- ・国立研究開発法人 海洋研究開発機構 地球環境部門 北極環境変動総合研究センター

テーマ:「北極域石油・ガス開発の現状と展望」

参加費:無料 (意見交換会については有料)

申込〆切:2019 年 12 月 9 日(月)

本セミナーについて:

温暖化による海氷減退などの環境変化を背景に、北極域は社会的・経済的变化に直面しています。このような変動を捉え、北極域をめぐるには、エネルギーをはじめとする資源開発や海運ネットワーク、農林水産業、観光、通信などの持続的利用に向けた可能性への議論が高まっています。このような中、本セミナーは企業や官公庁の皆さまに北極域の最新情報を提供すると共に、北極域に係る新たな産業や共同研究への新規参入の需要を喚起することを目的とし、J-ARC Net 事業の一環として 2016 年度より 2 回/年で実施しています。

<参考>第 1 回～第 7 回のプログラムについては、次をご覧ください。

<https://j-arcnet.arc.hokudai.ac.jp/news/22145/>

第 8 回について:

第 8 回は、「北極域石油・ガス開発の現状と展望」を主題とし、ロシアを中心とした北極域の石油・ガス開発状況、特にヤマル LNG-PJ とそれに続く Arctic LNG2-PJ に関する最新情報を提供し、石油・ガス開発並びに北極海航路利用による海上輸送の期待と課題、国際・国内環境法の役割、持続可能性と生態系や地域社会への影響、今後の方向性や異分野・産学官連携の貢献や期待などについて議論します。

プログラム:

- (1) 開会あいさつ (13:20-13:30)
北海道大学 北極域研究センター 深町康 センター長
事務局より (13:30-13:35)
- (2) 「ロシア北極域石油・ガス開発の戦略と動向」 (13:35-14:15)
石油天然ガス・金属鉱物資源機構調査部調査課(ロシア CIS 担当)担当調査役 原田大輔 氏
- (3) 「ヤマル LNG プロジェクトの輸送実績と新規北極圏プロジェクトへの取組み」(14:15-4:55)
株式会社 商船三井 本郷祐介 氏
<休憩> (14:55-15:10)
- (4) 「北極海航路の利用:船舶と航行の現状・課題・研究」 (15:10-15:50)
工学院大学 機械工学科 金野祥久 教授
- (5) 「北極圏の石油・ガス開発に係る国際環境法とヤマル地域の国内環境法の役割と影響」
(15:50-16:30)
大妻女子大学 社会情報学部 木村ひとみ 准教授
<休憩> (16:30-16:45)
- (6) 「北極圏(ヤマル地域)における開発と環境変化:先住民・地域社会への影響」
(16:45-17:25)
千葉大学大学院 人文科学研究院 吉田睦 教授
- (7) 総合討論 (17:25-17:55)
モデレーター 北海道大学 北極域研究センター 大塚夏彦 教授
- (8) 閉会のあいさつ (17:55-18:00)
国立極地研究所 国際北極環境研究センター 宮岡宏 センター長
- アンケートご記入 (18:00-18:05)
総合司会 北海道大学 北極域研究センター 特任教授 田中雅人

意見交換会:

時間: 18:15-19:45

場所: JAMSTEC 東京事務所共用会議室

会費: ¥2,000

<お問い合わせ・お申込み先>

北極域研究共同推進拠点事務局 (北海道大学北極域研究センター内)

j-arcnet@arc.hokudai.ac.jp

TEL:011-706-9074 FAX:011-706-9623

申込書あるいは氏名(ふりがな)、所属(役職)、e-mail アドレス、意見交換会の参加有無をご記入の上、j-arcnet@arc.hokudai.ac.jp までお申し込み下さい。申込受領後の確認返信をします。

申込締切: 2019 年 12 月 9 日(月)